

令和6年度事業報告

自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日

1 一般情勢

我が国の畜産を取り巻く情勢は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類に移行され、私たちの生活はコロナ以前に徐々に戻って来たが、世界の情勢はまだロシアによるウクライナ侵攻が続き、イスラエル軍のガザ地区への攻撃など、世界の食料生産や物流の混乱、それに伴う生産資材価格の高騰、さらには気候変動による食料生産の不安定化、世界的な人口増加等に伴う食料争奪の激化などにより、今後、食料等の安定的な輸入が保証されない状況に置かれた。

日本国内では、畜産生産者の減少・高齢化、人口の減少に伴う消費の減少、畜産物生産費が上昇する一方で畜産物価格がそれに見合って上昇せず、生産者自らの値決めも困難な状況であった。

こうした情勢の下で、全日畜は畜産を取巻く状況を正しく捉えて早期に課題を認識し、商系畜産経営者とともにこれらの情勢等の情報やそれに対応するための意識を共有し、共に対応策等を考え、畜産経営の改善、発展に取り組むために畜産振興事業をはじめとした各事業は、ほぼ当初の計画どおり実施した。

2 事業報告

飼料及び生産資材価格の高止まりが依然として続く中で、畜産経営の改善、発展に取り組むために畜産振興事業への参加等を通して、商系畜産経営者の支援を事業方針に掲げ、令和6年度の事業活動として次の取り組みを実施した。

(1) 畜産振興事業

① 畜産経営の危機克服・持続のための実態緊急調査事業（JRA 事業）

令和5年度から実施した JRA 事業「畜産経営の危機克服・持続のための実態緊急調査事業」の最終年度を実施した。令和6年度は全国2会場（宮崎県、北海道）でワークショップ「畜産経営の危機克服し、持続発展のヒントを求めて」をテーマとして開催し、合わせて70名が参加した。ワークショップでは地元新聞の取材があり、紙面で紹介されるなど、この事業への関心が高いことが伺えた。また、令和6年12月に調査で得た取り組み事例等の集大成として東京都内においてセミ

ナーを全国から畜産経営者の代表等が参加して開催し、参加できなかった生産者等のため、同時 WEB 配信するとともに、後日、セミナーの講演動画をホームページ上で配信するなど普及に努めた。さらに、2年間の調査結果を整理してとりまとめた「事業成果報告書」及び「事例集」を作成し、ホームページ上に公表した。

② 畜産経営の持続可能な開発目標対応調査事業（JRA 事業）

令和6年度からの2年継続事業の「畜産経営の持続可能な開発目標対応調査事業」の初年度の事業を実施した。この事業は、商系飼料メーカーの飼料を利用する全国・全畜種の畜産経営者を対象として、特に生産者の関心の高い畜産 DX 及びアニマルウェルフェアに対する取組状況を調査し、課題、解決方策等の結果を公表することで、畜産経営の安定及び発展に資することを目的としている。令和6年度は、実態調査として全国5畜種の畜産経営者に対してアンケート調査を実施し、373件を回収した。畜産 DX 及びアニマルウェルフェアに対する取組状況、課題、解決方策等について意見交換を行うワークショップを全国3会場（千葉県、青森県、愛知県）で開催し、合わせて148名が参加した。また、令和6年度の活動を取りまとめた「調査報告書（中間報告書）」を作成し、ホームページに公表した。

(2) 広報及び情報発信事業

① 会報「全日畜だより」

会報「全日畜だより」において継続して全日畜の活動状況等の情報について発信を行った。

② ホームページ

受託した畜産振興事業の調査成果について、ホームページの「資料室」に掲載し公表した。また、毎月「畜産物価格の概況」、「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を畜産情報として継続して掲載を行った。

③ ホームページでの講演動画の配信

より多くの関係者に情報を普及するため、WEBを活用した情報発信として、第16回定時社員総会記念 全日畜セミナー講演動画及び、全日畜危機克服セミナー

において発表された講演の4話題をホームページ上に公表した。

(3) 関連団体（日本飼料工業会・全日基・配合飼料価格安定基金協会、等）との連携事業

① 基金協会理事長会議

千葉県成田市で開催された関東甲越ブロック（1都8県）基金協会の理事長会議に工業会・全日基とともに参加し、活動状況報告等を行った。

山形県新庄市で開催された東北六県基金協会理事長懇談会に工業会・全日基とともに参加し、活動状況報告等を行った。

福岡県福岡市で開催された山口・九州地区理事長・常務理事合同会議に工業会・全日基とともに参加し、それぞれ活動状況報告等を行った。

② 地域全日畜・県全日畜講演会

東北全日畜総会、青森県全日畜総会、東北地域全日畜ブロック会議及び東北全日畜講演会に参加した。

関東甲越・千葉県全日畜主催の「飼料用米の利用推進に関する講演会」を後援するとともに、参加した。

③ （一社）畜産生産者団体協議会

全日畜が加盟している畜産団体「一般社団法人畜産生産者団体協議会」について、引き続き、協議会の運営等に参画した。

(4) 総会及び機関会議等

① 定時社員総会

令和6年6月17日に第16回定時社員総会を機械振興会館で開催した。

議案審議では、令和5年度決算が承認された。

総会を記念して、NPO法人プラットフォームあおもり理事長の米田大吉氏を講師に招き、「経営課題との向き合い方が、組織のミライを決める」と題した全日畜セミナーを開催した。

② 理事会

令和6年度は4回の理事会を開催した。

開催日：5/17：第1回（集会型）
10/3：第2回（集会型 WEB 併用）
12/17：第3回（集会型 WEB 併用）
3/24：第4回（集会型 WEB 併用）

③ 運営委員会

令和6年度は4回の運営委員会を開催した。

開催日：5/9：第1回（集会型 WEB 併用）
9/3：第2回（集会型 WEB 併用）
12/4：第3回（集会型 WEB 併用）
3/12：第4回（集会型 WEB 併用）

④ 事務局長会議

令和6年度は2回の事務局長会議を開催した。

開催日：6/18：第1回（集会型）
2/7：第2回（集会型 WEB 併用）

(5) 組織強化事業

賛助会員

全日畜の活動等について、理解と賛同をいただく賛助会員の加入活動に取り組んだ。

令和6年度賛助会員数：29 団体